



当法人〈青少年国際交流プロジェクト〉  
20周年記念  
ISRAEL — PALESTINE — JAPAN  
**平和の架け橋**  
PROJECT 2025

プロジェクト2024(長崎)

被爆・終戦から80年の年に  
**平和を求めて**  
イスラエル—パレスチナ—日本  
長崎・東京で**若者が交流**

主催 認定NPO法人 聖地のこどもを支える会  
共催 ヨハネ・パウロ2世財団(エルサレム)  
後援 独立行政法人 国際協力機構(JICA)、カトリック長崎大司教区、立正佼成会

このプロジェクトの発案者が来日予定  
**対話の必要性 今だからこそ**



「平和の架け橋プロジェクト」開始から今年で20年目。ガザ停戦は破られ、イスラエル軍による封鎖で人道危機が深刻化し対立も厳しさを増す中で、今年もプロジェクトの実施を決めました。イスラエルとパレスチナからの参加者の募集にまず応じてきたイスラエル人は、兵役を体験した男性です。初めは防衛のために戦うのは「義務」だと感じた軍事作戦に対し「人道的な視野を欠き絶望を感じだした」と記し、プロジェクトでパレスチナ人と対話し相手側の現実を知ることは意義深いと、応募の理由を述べました。



このような対話こそ、プロジェクトの発案者であるイブラヒム・ファルタス神父(聖地フランシスコ会)が望むものです。「対話」の必要性は、2002年の聖誕教会包囲事件\*を解決した経験から確信しました。最近ではガザで負傷した子どもたちをイタリアで治療する事業にも携わっていますが、そのファルタス神父が今年、来日する予定です。

\* 2002年4月、ベツレヘムの聖誕教会がイスラエル軍により包囲された事件。ファルタス神父は教会の主任司祭として、中に逃げ込んだ220人以上のパレスチナ人の命を39日間守り抜き、粘り強い「対話」による解決に導いた。

払込取扱票

00 東京	口座記号	番号	001804	88173
加入者名	NPO法人 聖地のこどもを支える会			
通信欄	あなたのパソコンのメールアドレス			
ご依頼人	ご住所(郵便番号) 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇			
〇〇	ふりがな お名前			
金額	千	百	十	万
	0	0	0	0
料	金	額		
備考				
☐ 領収書(確定申告用)が必要な方は、✓をお願いします。				
2025架け橋				
日	附	印		

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちよ銀行)(承認番号第55417号) これより下部には何も記入しないでください。

主催 認定NPO法人 聖地のこどもを支える会  
お問い合わせは、プロジェクト実行委員会事務局へ  
<http://seichi-no-kodomo.org>  
TEL & FAX 03-6908-6571

共催 ヨハネ・パウロ2世財団(エルサレム)  
後援 独立行政法人 国際協力機構(JICA)、カトリック長崎大司教区(いずれも予定)

振替払込請求書兼受領証

001804	88173
加入者名	NPO法人 聖地のこどもを支える会
金額	千 百 十 万 千 百 十 円
	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
料	金 額
ご依頼人	お名まえ
日	附 印
料	金 額
備考	

記載事項を訂正した場合は、その所に訂正印を押してください。切り取らずにお出してください。

この受領証は、大切に保管してください。





# 終わりが見えないガザ戦争 根強い相互不信、対話の難しさ増す中 平和の担い手を育てることが必要です

被爆・終戦から80年となる年に、3カ国の若者が交流「平和の架け橋」プロジェクト2025

ガザでは1月に実現した停戦が続かず、イスラエルとパレスチナの相互不信は根強く、和平を語るのは難しい状況です。しかし昨年、戦争が続いている中で双方の若者を招き、交流を果たすことができました。厳しい情勢だからこそ市民の交流が必要と信じ、今年も被爆地・長崎の皆さまのご協力を得て、紛争当事者間の信頼の醸成を試みます。

**対立を乗り越え、対話へ。  
共生への道を探る  
若者たちを応援してください！**

攻撃と空爆などによる死傷や家屋の破壊。互いに犠牲を強いられ、憎悪を向け合う紛争当時国の若者が、唯一の戦争被爆国日本で、戦争の悲惨さを改めて知り、互いの経験に耳を傾ける。「平和の架け橋プロジェクト」は、参加者それぞれが和解の困難さを乗り越えて他者の痛みにも共感し、共生の道を探ることを目指します。

プロジェクトの概要 細部は計画中

日程

2025年 8月3日(日)～16日(土)【14日間】

プログラム

第1部 長崎・田平で

共同作業、人々との交わり、美しい自然の中で友情と信頼を育む。互いを受け入れ、共生の喜びを分かち合う。

第2部 長崎市内で「戦争」と「平和」の学び

平和祈念式典参加、原爆資料館見学、被爆体験を聞く。市民・若者との対話、慰霊のためのパイプオルガンコンサート。

第3部 東京・JICA(予定) 対話を通して「平和への道」を探る  
高校生、大学生、一般市民を対象にシンポジウム、対話集会などで、平和のメッセージを発信する。

## プロジェクト総費用(目標額)・・・640万円

プロジェクトには多額の費用がかかります。参加者には一定の負担を求め、チャリティイベントなども行いますが、昨今の円安・物価高騰もあり、**資金は不足しています。**

**支援をお願いします！** 募集期間 2025年2月～8月

各種クレジットカード、  
金融機関からの  
振り込みをご希望の方は  
QRコードで。



右の払込取扱票をご利用ください  
郵便振替：NPO法人聖地のこどもを支える会  
00180-4-88173

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますの  
で、金額を記入する際は、枠内に  
はつきりと記入してください。また、  
本票を汚したり、折り曲げたりしな  
いでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵  
便局の払込機能付きATMでもご利  
用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は  
郵便局の渉外員にお預けになるとき  
は、引換えに預り証を必ずお受け取  
りください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依  
頼人が負担することとなります。
- ・ご依頼人様からご提出いただきま  
した払込書に記載されたおとこと、  
おなまえ等は、加入者様に通知され  
ます。
- ・この受領証は、払込みの証拠とな  
るものですから大切に保管してくだ  
さい。



この場所には、何も記載しないでください。